

子どもたちの安全・安心のためにやっているパトロール活動を通じて得られた情報を発信する学期ごとの通信誌です
 - 保護者の方にお読みいただき、子どもたちへお伝えいただきたい内容です -

KFP三校防犯講習会 防犯ブザー活用術より

11/10(日)にKFP三校主催の防犯講習会「防犯ブザー活用術」を鵜沼小学校体育館で行いました。

鵜沼小学校では10月から11月にかけて通学中や放課後、児童に対する不審事案が連続発生しました。犯人像はすべて異なり、未だに逮捕されていない状況です。学校も10/1の事案以後、下校パトロールや児童に対しての防犯指導をしましたが、KFPもパトロールの強化と共に、夏休み前から企画していました防犯講習会を藤沢警察署の生活安全課に依頼して、防犯係のお巡りさん2名に講義と寸劇を交えた実技を実施してもらいました。



防犯ブザーはランドセルの肩ベルトの前面に付け、いざという時に素早く鳴らせるようにし、日頃から電池切れや不備がないか点検しておく必要があります。犯人は「どこ何処に行きたいのだけど道案内してくれる?」、「お母さんが交通事故に遭った。病院に連れて行ってあげる」「ワンちゃんが迷子になっちゃった。一緒に探してくれる?」など、色々な声掛けをするそうなので、誘いにのらず、危ないと感じたら、走って逃げながら防犯ブザーを鳴らし、大声で「助けて!!」と叫び、人通りの多いところや子ども110番の家に駆け込むなどの対処法を身につけておく事が大事だそうです。

講習会では、持参してもらった防犯ブザーを鳴らしてみたり、小学生役と犯人役のお巡りさんが寸劇をし、幼稚園の女の子と小学生の男の子が実技に協力してくれました。その後は、保護者から質問や意見が多くあがりました。日頃から鵜沼地区ではおはようボランティアさんの見守りや、自治会、防犯協会、KFPなどが防犯パトロールを行っていますが、近年、全国的に子どもに対する犯罪も増加傾向なので、子どもたちが自らを守るすべを身につける必要があります。親子で対処する方法を考えてみる機会を持って下さい。また、不審事案に遭遇したら、警察や学校に通報して下さい。

みんなの合い言葉 いかのおすし

- ・知らない人について①㊦ない
- ・他人の車に②㊧らない
- ・③㊨おごえで叫ぶ
- ・④㊩ぐ逃げる
- ・何かあったらすぐ⑤㊪らせる



おおだこポリスのお約束

- ・㊫㊬うちの人に行ってきます
- ・㊭㊮ともだちと遊ぼうね
- ・㊯㊰まされてついて行かない
- ・㊱㊲わくになったら大声で



★より安全・安心な防犯ブザー

防犯ブザーは500~1,000円程度で、ヒモを引くと90db程の音量(基準は85db以上)の甲高い音が鳴るのが通常です。それにLEDライトが付いていたり、防滴や防水機能、反射材が付いたものなどが販売されています。さらに安心なタイプは、携帯各社やセキュリティー会社が取り扱っており、GPS機能の内蔵や、ブザーを鳴らした場合は、自動的に保護者やセキュリティー会社に連絡が入るようになっています。また、子どもの位置も確認する事も出来、保護者が要請すれば緊急対応員が現場に駆けつけて対処してくれます。その他にも事前登録したボタンを押すと、親や学校などに電話を掛けたり、機種によりメールの送受信も可能です。なお、お子様用の見守り携帯も、一般的な携帯電話と同様、学校内や登下校中での不要な通話やメールのやり取りはしないよう、ご家庭での指導が必要です。

